

令和4年度  
事業報告書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

## 令和4年度事業報告

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

本年度は、第5期目の指定管理指定を受けた初年度でありました。

「府民の体育・スポーツの振興」「健康づくりの場として活用」「魅力的な花や緑の公園づくり」「観光拠点としての利用促進」「地域と連携した賑わいづくり」「子育て世代に優しい公園づくり」「広報活動の充実」を基本方針としてスポーツ推進事業自然文化事業、自然文化・スポーツ振興支援事業を積極的に展開しました。

公益法人として、使命感と責任感を持って、安定した経営確保にも努めました。

令和4年3月21日新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置終了しました。事業全般としては感染対策を講じながら縮小された大会などもありましたが、各種大会・合宿やイベント事業など実施し、2年連続で営業を中止しておりましたファミリープールは、7月15日(金)～8月31日(水)で、入場制限を500名上限にして営業を行ない15,000名余りの方々にご利用いただきました。それぞれ徐々に利用人数は増えてきましたが、感染症の影響により来園者数は38万人に留まり、4年度も運営は厳しい年となりました。

協力会としては3年度に引き続き新しい生活ルールの中、府立都市公園等における感染拡大防止ガイドラインに基づき利用者が安心して安全に公園を使っていたけるよう感染症対策を講じて実施しました。

スポーツ振興事業では、施設の有効活用を図りながら、「テニス教室」「太極拳教室」や「レディーススポーツデー」では、保育ルームを設け子育て世代が参加しやすい環境を提供するなど、感染症対策を講じながら事業を実施しました。

スポーツの普及・振興や参加者の親睦を深め地域交流の活性化を目的として「グラウンド・ゴルフ大会」「テニス大会」等を開催しました。グラウンド・ゴルフ大会については、感染状況を確認しながら参加定員を前年度の200名程度から288名(最大384名)に緩和し実施しました。

障がい者スポーツにおいては、本年度は10回の開催で111名の参加。障がい者スポーツ交流大会は61名の参加がありました。府中部地域の拠点となるため、今後も基本的な感染症対策に十分注意しながら、利用する方が無理のない範囲で参加できるよう努めていきます。

冬期期間における利用者の拡大を図ることや、スポーツ団体の冬期トレーニングの場として活用をしていただくことを目的に開催しましたクロスカントリー大会も13回を数え、リピーターや地元スポーツ少年団や府下の中学校陸上競技部などから267名と多くの参加をいただきました。

京都トレーニングセンターにおいては町教育委員会、学校、関連団体へ訪問誘致活動を行いました。令和4年度は、一般利用が8,774名(測定・指導については1

1, 376名)のご利用をいただきました。また、昨年10月には京都トレーニングセンターがHPSCネットワーク構築事業連携機関に指定を受けました。これにより、東京都のセンターへ行かなくとも、普段のトレーニング拠点である京都トレーニングセンターでHPSCと一貫したスポーツ医・科学的なトレーニングの支援が受けられるようになりました。このことにより、さらなる有効活用を図りスポーツ振興、地域振興に努めます。

文化事業では、感染症対策を実施しながら教室事業を展開しました。

「ガーデニング教室」「キノコ教室」「天文教室」など丹波自然運動公園や近隣の自然を活かした教室、「木工教室」「天体望遠鏡作り」「しめ縄教室」など親子、高齢者が一緒に学ぶ教室を開催し地域の交流や活性化を図ることができました。昨年度につづき子供たちにもっと星空や宇宙に夢や興味をもってもらいたいと、オンラインによるJAXA宇宙講演会や幼児向けキッズ天文教室を開催しました。

地域との連携事業では、地元団体と協働で開催し来園の方々にも楽しんでいただいている「京都丹波ロードレース大会」「京都丹波ふるさと特産展うまいもの市」「あっぱれたんぼ」や「京丹波マルシェ」等を3年ぶりに開催しました。

今後は、再開できた経験を基にした感染症対策をはじめとした運営方法について関係団体や地域住民と慎重な協議をした上で、公園と地域を幅広くフィールドにした取り組みの開催に努めてまいります。

施設の管理運営では、常に利用者の目線にあった対応を心がけ、利用者が安心安全にご利用いただくために職員一人ひとりが危機感を持って事故防止に努めました。また、丹波自然運動公園は、災害時の防災拠点として指定されていることから有事の際には当法人も全面的に協力できる体制を整えました。

4年度については、昨年度に引き続き新しい生活ルールの中、府立都市公園等における感染拡大防止ガイドラインに基づき、施設の清掃・消毒等を重点的に実施しました。今後も、このような時代こそ都市公園の役割「にぎわいのある公園」「安全・安心して過ごせる公園」を目指して、府民のニーズを取り入れながら地域交流の場及び府民の憩いの場として、公益目的事業を推進するとともに、安心・安全で快適な空間を提供し、豊かな「スポーツライフ」及び自然文化と親しむライフスタイルの確立に努めてまいります。

## I 事業の概要

京都府との指定管理基本協定（令和5年4月1日）に基づき京都府立丹波自然運動公園における各施設の管理運営、スポーツ振興事業、自然文化推進事業及び自然文化・スポーツ振興支援事業、地域振興事業などの公益目的事業及び収益事業を行いました。

本年度の主な事業概要は、次のとおりです。

## 1. 入園者数

総入園者数	379,363人
運動施設等	268,463人
フリーゾーン	110,900人

総入園者数は前年度比156.7%となりました。

令和4年3月21日新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置終了し、感染対策を講じながら各種大会や合宿、イベント事業それぞれ徐々に増えてきました。しかし、感染症の影響は続きにより来園者数は38万人に留まりました。

## 2. 公益目的事業

### (1) スポーツ振興事業

施設の有効活用を図りながら、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目的に多種多様なプログラムを設定し、誰もが気軽に参加できるスポーツの場として地域のスポーツ振興を促す事業

#### 1) スポーツ教室

基本技術の習得と仲間との交流を広げるきっかけづくりの場を提供するとともに保育ルームを設置し子育て世代の女性が参加しやすい環境作りを企画しました。

本年度の保育ルーム利用人数は累計で10名あり、子育て中の女性からは、安心してスポーツができると好評を得ました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	延べ人数
レディーススポーツデー	33	1,005人
テニス教室	32	471人
太極拳教室	22	183人
親子サッカー教室	0	中止
ツリークライミング教室	2	96人
ノルディックウォーキング教室	1	13名
合計		1,768人

#### 2) スポーツ振興・レクリエーションの普及

世代を問わずスポーツを楽しむ機会をつくるとともに、利用者の親睦を深め、地域交流の活性化を図り、活力ある体力づくりの増進に寄与しました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	延べ人数
テニス大会	4	414人
グラウンド・ゴルフ大会	5	1,312人
ゲートボール大会	2	128人
ソフトバレーボール大会	1	31人
ディスクゴルフ大会	0	中止
クロスカントリー大会	1	267人
障がい者スポーツ交流会	1	61人
エンジョイテニス	41	283人
グラウンド・ゴルフのつどい	31	1,015人
障がい者スポーツのつどい	11	172人
合計		3,683人

3) スポーツ支援事業

主にジュニアアスリートを対象として競技力向上を図るための包括的な医科学的支援及び医科学的トレーニング可能な方を対象に健康及び体力を維持増進するための支援を行いました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

指導内容	利用人数
健康体力相談	136人
測定	841人
トレーニング指導	4,837人
栄養サポート	564人
コンディショニング指導	3,900人
メディカルアドバイス	72人
メンタルサポート	820人
映像サポート	0人
能力検査	206人
合計	11,376人

## (2) 自然文化推進事業

### 1) 文化教室

公園の持っている豊かな自然的条件を最大限生かして、心豊かで質の高い生活を送り、毎日の暮らしを楽しみ、文化と親しむライフスタイルの確立に貢献しました。

心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的

事業名	回数	人数	備考
キノコ教室	1	32人	キノコの見分け方
手作り教室	3	47人	ミニ椅子、望遠鏡、しめ縄教室
ガーデニング教室	4	80人	季節の寄せ植え
天文教室	6	87人	月、星座観望
JAXA講演会	1	52人	宇宙に関する講演会
キッズ天文教室	1	27人	幼児向け教室
天体観測		1,551人	
合計		1,876人	

### 2) 自然体験

農業体験等を通して、地産地消、子どもたちの食育、人々とのつながりなどを考える機会を提供しました。

心身の健全な育成を目的

事業名	回数	人数	備考
あっぱれたんぼ	1	130人	田植え
	1	105人	稲刈り
職場体験	1	3人	蒲生野中学校
親と子の山村体験	1	37人	
合計		275人	

### 3) 作品展示

近隣の愛好家の作品を展示するとともに栽培方法等の情報交換の場としての役割も果たしました。近隣をはじめ広く来園者に楽しんでいただくことで地域の活性化にも繋がりました。4年度は、京都府立須知高等学校をはじめ、町内から丹波ひかり小学校、下山小学校および蒲生野中学校の生徒さんが栽培された作品を展示いただき開催中は地元の皆さまはもとより、京阪神地域の皆さまにも多く作品を観賞いただきました。

地域社会の健全な発展を目的

さつき・山野草展	日 時	令和4年6月3日(金)～6月5日(日)
	入場者	102人
	内 容	丹波地域のサツキ・山野草の愛好家の作品展示と情報交換
菊 花 展	日 時	令和4年10月22日(土)～11月13日(日)
	入場者	1,600人
	内 容	丹波地域の菊の愛好家及び公園の作品展示と情報交換

4) イベント

スポーツだけでなく公園の四季折々の美しさ、楽しみ方を知っていただくためにイベントを開催し、より多くの人々に来園していただくことを目的に実施しました。

実施に当たっては、感染症対策を充分講じ様々な活動団体と連携・協働し、地域の公園としての位置付けを確立し、地域振興・地域の活性化に積極的に参画しました。

地域交流、地域社会の健全な発展及び心身の健全な育成を目的

丹波ちびっこまつり	日 時	令和4年5月5日(木)
	入場者	6,000人
	内 容	乗り物コーナー、消防・警察コーナー、ステージコーナー、お楽しみコーナー、FDコーナー、トランポリン、ウォークラリーなど、親子のふれあいや子どもの健全な育成を目的に開催
あっぱれたんぼ	日 時	令和4年6月5日～9月25日
	入場者	3,152人(うち催事2回235人)
	内 容	カエルをモチーフにしたたんぼアート。田植え及び稲刈りの農業体験と生育期間中のたんぼアートの鑑賞
森のバザール	日 時	令和4年11月3日(木・祝)
	入場者	公園まつりでカウント
	内 容	「おしゃれ」をキーワードにした手づくり市
京丹波マルシェ	日 時	令和4年10月23日(日)
	入場者	3,500人
	内 容	京丹波町内のお店が創作したマルシェ特別メニューをはじめ、地元食材を使用した総菜や弁当、スイーツなどの販売ほか

丹波公園まつり	日 時	令和4年11月3日(木・祝)
	入 場 者	5,500人
	内 容	ツリークライミング教室、南丹船井レクリエーション協会、府立高校等と連携した遊びコーナーほか 同日開催；森のバザール

協力が主催するイベントの他にも、外部団体主催の持込企画イベント「京都ファミフェスin 丹波自然運動公園」「世界の青空0丁目」「おでかけWAWAWA in 京丹波」には積極的に相談に応じ、開催に向けての協力を行いました。外部団体のイベントを年間イベントに挟み込むことにより、来園される方々に多彩な楽しみ方を味わっていただけることとなりました。また、京都府南丹広域振興局との連携による令和4年度サイクルスタンプラリー「ツール・ド×京都丹波2022」に参画しました。無料サイクリングアプリ「ツール・ド」を使用した非接触型のスタンプラリーで、当公園は昨年同様に発着地点としてコースの完走確認等を行ないました。

#### 5) サポーター事業

公園の環境整備を府民みんなの手で美しくするとともに公園への愛着、また参加者の生き甲斐づくりの場として事業を展開しました。

### (3) 自然文化・スポーツ振興支援事業

#### 1) 運動施設等の公益目的貸与

スポーツ目的での利用者に運動施設の貸与並びに健康で文化的な生活を推進するため文化活動等を行う利用者に公園施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
陸 上 競 技 場	52,856人
補 助 競 技 場	42,315人
テニス・バレーコート	51,512人
軟 式 野 球 場	20,267人
体 育 館	30,431人
球 技 場	26,088人
ト レ ー ニ ン グ 棟	8,774人
運 動 施 設 合 計	232,243人



施設名			利用人数
天	文	館	1,638人
研	修	室	14,088人

## 2) 宿泊施設の公益目的貸与

公益目的に合致する公園利用者に対して宿泊施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名			利用人数
宿	泊	所	16,977人

## 3) 施設の管理運営事業

安全・安心な公園を目指し、府民に親しまれる健全で快適な公園環境の維持管理を行うとともに、防災拠点として有事の際にその機能が最大限発揮できるよう行政との連携に努めました。

### 3. 収益事業

#### (1) 収1事業

##### 1) 給食業務事業

昨年度につづき食事提供人数は従前より減少しましたが、4年3月から宿泊施設利用者には、近隣周囲の同業種の提供方法を参考にしながら以前からのbuffet式での提供方法に変更しました。全テーブルにアクリル板設置、入室人数を制限し、他のお客様同士の食事時間が重ならない様に配慮。食後の各テーブルのアルコール消毒など感染症予防対策は継続して努めてきました。

利用者のニーズにあわせた地元食材を使用した特別食（鍋料理やオードブル）や、利用者のご要望や相談に応じたアスリート食の提供も行いました。

##### 2) レストラン、レストハウス、売店等業務事業

レストランでは、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン推進宣言事業所として継続して感染症対策を取り、春や秋には地域の高齢者サロン向けの食事プランなどの提供を行ないました。また、売店では、宿泊者や利用者の利便に供した雑貨の提供を行いました。

夏季には、南区域にレストハウス及び売店を開設し（プール開園期間中）利用者への軽食や物品販売サービスに努めると共に、公園宿泊利用者から要望の高いバーベキューも継続して提供し、地場特産品を使用したメニューの提供・販売を行いました。

また、公園の要所には自動販売機を設置し、利用者がこまめに水分補給できるよう配慮しました。利用人数が増加しているわくわくアスレチックパークには1台増設しました。

##### 3) 請負業務事業

園内で開催されたゲートボール連合大会、京都府消防操法大会、映画上映会等々の会場設営業務を行ないました。

また、園外事業として道の駅「京丹波 味夢の里」の維持管理業務を継続して行いました。

## (2) 収2事業

### 1) プール管理運営

4年度のプールのオープン期間は、7月15日(金)～8月31日(水)で、入場制限を500名上限にして営業を行ないました。

利用者 15,619人

### 2) パターゴルフ場の管理運営

パターのみで遊べる全18ホールの天然芝コースで起伏のある本格的なコースとなっています。

京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設であり、子育て世代の家族にも楽しんでいただきました。

利用者 6,444人

### 3) 施設の貸与

施設の貸与のうち観光やレジャー目的等の当法人の公益目的事業外での使用。

宿泊施設利用者	407人
研修室	0人
テニスコート	30人
野球場	2人
体育館	37人

トレーニング棟利用のうち健康体力増進等による器具の使用。

トレーニング棟利用者 8,774人

### 4) その他

デイキャンプサイトの貸出	130サイト	730人
キッチンカー出店		累計34店舗

## II 機関運営等

### 1. 組織体制

#### 1) 役員等就任状況（令和5年3月31日現在）

役員

役職名	氏名
理事長	畠 中 源 一
副理事長	山 森 英 二
常務理事	大 西 義 弘
理 事	梅 原 好 範
	湊 友 三 郎
	中 越 豊
	松 谷 洋 二
監 事	岩 崎 弘 一
	池 田 正 康

評議員

役職名	氏名
評 議 員	松 山 征 義
	梶 本 正 徳
	松 本 和 久
	堀 本 恒 秀
	松 村 健 一
	安 谷 一 秀

#### 2) 事務局（令和5年3月31日現在）

事務局長（1）	総務課（4） 管理課（12） 業務課（12） トレーニングセンター課（5） *非常勤（8）含む
---------	---

### 2. 理事会・評議員会等の開催状況

#### (1) 理事会

##### 1) 第1回理事会（定時） 令和4年5月27日（金）

決議事項

- ① 令和3年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告について
- ② 令和3年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力役員候補者の推薦について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員候補者の推薦について
- ⑤ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会給与規程の一部改

正について

- ⑥ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

#### 報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

#### 2) 第2回理事会（定時） 令和5年3月20日（月）

##### 決議事項

- ① 令和5年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和5年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会常務理事の選定について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会育児・介護休業規程の制定について（全部改正）
- ⑤ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

#### 報告事項

- ① 職務執行状況の報告について
- ② 令和4年度決算見込みについて
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会給与規程の一部改正について（専決処分報告）

#### (2) 評議員会

##### 1) 第1回評議員会（定時） 令和4年6月13日（月）

##### 決議事項

- ① 令和3年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告について
- ② 令和3年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力役員候補者の選任について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員候補者の選任について

2) 第2回評議員会(定時) 令和5年3月27日(月)

決議事項

- ① 令和5年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和5年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会常務理事の選任について

(3) 監事監査 令和4年5月18日(水)

- ① 令和3年度事業報告及び決算概要説明
- ② 令和3年度決算

## 事業報告の附属明細書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。